

# 日本人と養蚕

～各地の新聞から「養蚕」を考える～

C-1-1-1  
養蚕製糸

【 対象 】 一般教員、司書教諭、司書、 生徒  
一般 他

【 時間 】 50分

【 会場 】 多目的ルーム、会議室、教室など

【参加者の持ち物】  
筆記用具  
など

## 【準備】

キット 4-0 4-1-1 4-1-2 4-1-3 4-2-1-1  
4-2-1-2 4-3-1 4-3-2-1 4-3-2-2 3-0-1-1  
3-0-3 2-11

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】 \*ワークシートは各校で作成

- ① 「養蚕」の歴史を簡単に触れる。
  - ※ 2200年以上前に中国から日本に伝来した。
  - ※ 絹は「調」という税として納められていた。
  - ※ 開国以来日本の重要な輸出品として、経済を支えた。 など
- ② 資料から現在各地に残る「養蚕」を調べる。
  - 記事で扱われている場所・内容をワークシート等へ書き込む。
- ③ 2000年以上続く「養蚕」への人々の思いを考え、その感想や思ったことをワークシートに書く。
- ④ 資料とワークシートを班の中で交換し、資料を読んで思ったこと・感じたことを書く。
- ⑤ ④を繰り返す。
- ⑥ ワークシートを資料の下に掲示し、全員で読み合う。

【 その他 】 養蚕が古くから日本で重要な産業であったことを学びます。養蚕への日本人の思いを、記事から読み取り、伝統や風習と密接な関係にあることに気づく学習になります。「糸」の字体の由来や正月の繭玉なども話題として出せるでしょう。